

探偵はBARにいる (2011)

メディア 映画

ジャンル ミステリー サスペンス 犯罪

製作国 日本

色彩 Color

時間 125分

初公開日 2011/09/10

映倫 PG12

【キャッチコピー】

何かあったら
電話してくれ。

【解説】

札幌在住の作家・東直己の“ススキノ探偵シリーズ”を「アフタースクール」の大泉洋と「まほろ駅前多田便利軒」の松田龍平主演で映画化したハードボイルド・エンタテインメント・ミステリー。原作シリーズ第2作『バーにかかってきた電話』を基に、奇妙な依頼を受けた主人公の探偵“俺”が、相棒の高田と共に、思いもよらぬ困難に遭遇しながらも次第に複雑な事件の核心へと迫っていくさまを、ユーモアを織り交ぜつつ、ハードなアクションと哀愁をにじませたミステリアスなストーリー展開でスリリングに描き出していく。共演は「ALWAYS 三丁目の夕日」の小雪、「星守る犬」の西田敏行。監督はTV「相棒」シリーズなどを手がける橋本一。

札幌のススキノでグータラな男・高田を相棒に探偵稼業を営む“俺”。携帯電話を持たない彼との連絡手段は、もっぱら彼が入り浸るBAR“ケラーオオハタ”の黒電話。ある夜、その黒電話に“コンドウキョウコ”と名乗る女からの奇妙な依頼が舞い込む。いぶかしく思いながらも、簡単な依頼と引き受けてしまった探偵。案の定、その筋の男に拉致されて危うく死にかける。腹の虫が収まらない探偵は、キョウコの依頼とは関係なく、報復へと動き出す。調べを進めていく探偵は、その過程で謎の美女・沙織を巡る不可解な人間関係と陰謀の匂い渦巻く複数の事件に行き当たるのだが…。

【クレジット】

監督	橋本一
製作	鈴木武幸
	神山郁雄
	木下直哉
	日達長夫
	畠中達郎
	鈴井亜由美
	古玉國彦
	村田正敏
	荻谷忠男
	岩本孝一
	山本晋也
	大辻茂
	古賀太
企画	香月純一
	桑田潔

エグゼクティブプロデューサー 平城隆司
プロデューサー 須藤泰司
上田めぐみ
今川朋美
ラインプロデューサー 林周治
アシスタントプロデューサー 植竹良
原作 東直己
脚本 古沢良太
須藤泰司
撮影 田中一成
美術 福澤勝広
編集 只野信也
音楽プロデューサー 津島玄一
宣伝プロデューサー 孤嶋健二郎
照明 吉角荘介
装飾 大庭信正
録音 田村智昭
整音 室園剛
アクションコーディネーター 諸鍛冶裕太
スチール 奈良則孝
製作担当 畑山佳津子
助監督 高橋浩
キャスティングプロデューサー 福岡康裕
出演 大泉洋
松田龍平
小雪
西田敏行
田口トモロヲ
波岡一喜
有蘭芳記
安藤玉恵
新谷真弓
街田しおん
野村周平
榎田徳寿
賀川黒之助
瀬戸口剛
竹内和彦
土平ドンペイ
真島公平
並樹史朗
竹下景子
マギー

探偵<俺>
高田
Koyuki 沙織
霧島敏夫
松尾
佐山
田口幸平
峰子
スナック元従業員
近藤京子
則天道場塾生
ケラーオオハタのマスター
近藤百合子
源ちゃん

『バーにかかっ
てきた電話』
(ハヤカワ文
庫刊)

榊英雄	スポーツバーのマスター
本宮泰風	岩淵貢
吉高由里子	近藤恵
片桐竜次	桐原組組長
カルメン・マキ	マキ
中村育二	南
阿知波悟美	田口康子
石橋蓮司	岩淵恭輔
松重豊	相田
高嶋政伸	<俺>を拉致した男